

社会科学習指導案

授業日時 令和元年9月5日(木)第1校時
授業学級 3年C組 野 2名 好 2名 計 4名
授業会場 3-C教室
授業者 _____
指導教員 _____

1 単元名 「軍国化に突き進む日本」

2 主眼

なぜ満州よりも資源が多い日本が満州を獲得しようとしたかを考える場面で、1930年前後の日本と他国の産業や経済などの状況に着目し、資料を用いて各国での失業者数や工業生産額を表すグラフの推移を視覚的に把握したり、友と獲得した情報を共有しあったりすることを通して、世界的に影響を与えた世界恐慌が満州事変発生に繋がる原因であるということを理解することができる。

3 本時の位置 (全5時間扱い中 第2時)

<前時>日本が「満州国」を建国したのには満州事変が関わっているということについて学ぶ。

<次時>世界恐慌時にソ連だけ工業生産額が右上がりしていることから、世界恐慌後に行った各国の対策を比較しながら学ぶ。

4 指導上の留意点

- ・前時の振り返りの部分で出た生徒の疑問を解決に繋げるために、導入部分にてその内容を取り上げ、その内容を用いて本時の授業を展開する。
- ・追究時に資料の読み取りが容易になるように、観点別にグラフを並べたり、見やすい色を用いたグラフを用意したりなど、視覚的比較がしやすい資料を用意する。

5 展開

過程	学習活動【学習形態】	予想される生徒の反応や意識 (◎)	支援 (・) と評価	時間
----	------------	-------------------	------------	----

導 入	<p>1 前時に学習した内容を踏まえて、当時の日本と満州の資源生産量をグラフにて確認する。 【全体】</p>	<p>◎日本は質の良い資源が取れる満州を自分のものにしてしようとしていた。 ◎日本の資源生産量は満州よりも多いんだね。 ◎なぜ日本は満州よりも資源生産量が多いのに、満州がほしかったのだろう。</p>	<p>・前時の振り返りにて「資源」に目を向けている生徒の意見を全体で共有することで、「資源」についての情報を再度整理することができるようにする。 ・日本と満州の資源生産量を比較することができるグラフを用いることで、今まで日本の資源生産量が少ないと仮定していた生徒の考えにズレが発生し、その疑問解決をしたいという意欲を高めることができるようにする。</p>	10
	<p>2 学習問題に対して予想をし、考察した内容を全体で共有して学習課題を設定する。 【個人・全体】</p>	<p>◎日本は軍力を高めたかったから。 ◎日本の経済が不安定であり、改善のためにはより多くの資源を用いて回復することが必要だったから。 ◎より多くの資源を獲得し、他国に勢力が大きいということを示したかったから。</p>	<p>・生徒の意見にて共通している部分を抽出することで、この後の学習課題がたちやすくなるだけでなく、何を追究すれば良いかが明確にすることができるようにする。</p>	10
		<p>学習問題：なぜ満州よりも資源が多い日本が、満州を獲得しようとしたのだろうか。</p>		
		<p>学習課題：1930年前後の日本にて変化した部分があるかどうかを資料から探そう。</p>		

展 開	<p>3 配布資料から満州事変周辺時の世界状況を読み取り、読み取った情報を基に満州事変が発生した原因となるものを考察して学習する。</p> <p style="text-align: center;">【個人・全体】</p>	<p>◎失業者の数が一気に増えている。</p> <p>◎工業生産量の変化も関係しているかも</p> <p>◎経済的変化が大きく見られるね。</p> <p>◎この変化が見られる時期には一体何が起きていたんだろう。</p>	<p>・満州事変時の世界の産業や経済を表すグラフを用意し、各観点別に情報を読み取るようにしてもらうことで、その当時の世界がどのような状況下に陥っていたかに気付くことができるようにする。</p> <p>・調べる時は用意した資料以外を使ってもよいと伝えることで、世界恐慌といった本時の核となる部分により迫り着くことができるようにする。</p>	15
	<p>4 配布資料から読み取れた情報や情報から考察した内容を全体で共有し、日本が満州事変を発生させた原因について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">【全体】</p>	<p>◎世界にて経済や産業に影響を及ぼした問題が発生したんだと思う。</p> <p>◎世界が不景気になったことで、日本は戸惑い満州事変を起こして満州を自分のものにしようとした。</p> <p>◎満州事変が発生したのは世界恐慌が起きて日本にも影響を及ぼしたからだ。</p> <p>◎日本でも世界恐慌以外の恐慌が発生していたんだね。</p>	<p>・資料から読み取った情報を板書にて観点別に整理することで、自分の考えを整理できるだけでなく、観点同士の繋がりから満州事変が発生した原因に気付くことができるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">資料から満州事変が発生した原因について調べる活動を通して、満州事変の背景には世界恐慌といった問題が存在しているということを理解ができているのかを発言や学習カードから評価する。</p>	10
ま と め	<p>5 本時を振り返って分かったこと、疑問に思ったことを学習カードに記入する。</p> <p style="text-align: center;">【個人】</p>	<p>◎世界恐慌が起きたことで世界中が不況状況になったということを知った。</p> <p>◎満州事変を引き起こした原因が世界恐慌と繋がっているということを知った。</p> <p>◎世界恐慌の影響を受けた後になぜ日本は満州と交渉をするのではなく、柳条湖事件を引き起こしたのか疑問に思った。</p> <p>◎日本以外の国は世界恐慌をどのようにして解決しようとしたのかを知りたいと思った。</p>	<p>・本時の最後に分かったことや疑問に思ったことを学習カードに記入して振り返ることで、自分の考えを整理することができ、かつ次々に各国の世界恐慌の対策を追究しようとする意欲を高めることができるようにする。</p> <p>・前時に行った満州事変と本時で扱った世界恐慌を関連させながら考察してもらうように声掛けをすることで、単元を貫いて理解することができるようにする。</p>	5

6 板書計画

